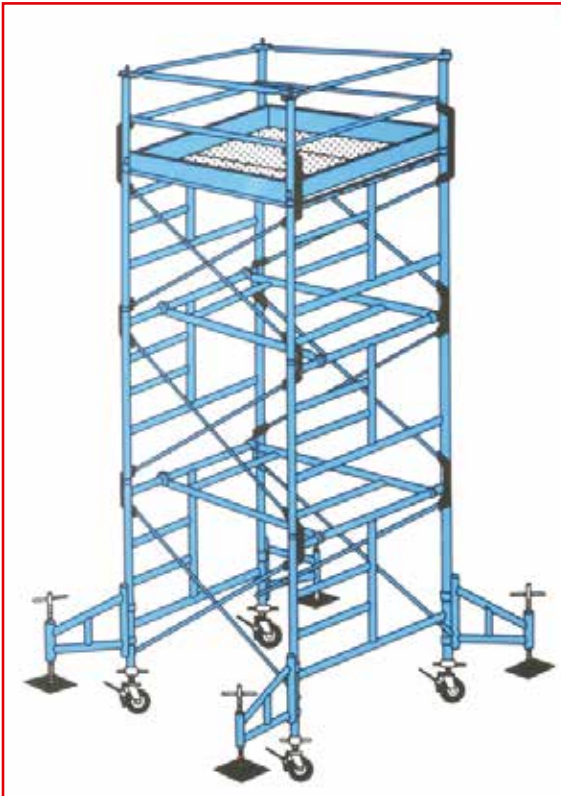
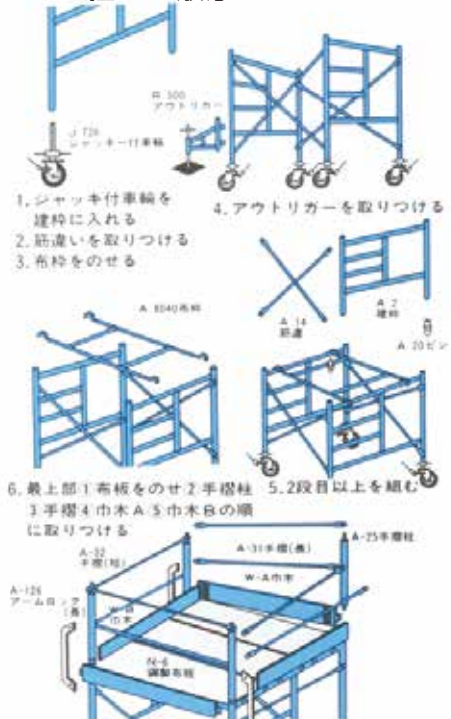


ローリングタワーは正しく安全に



※中段部は布枠ではなく、布板×2枚でお出ししております。

●正しい組立て順序



●取扱い上のご注意

1. 作業床、枠組み、脚輪、手摺等の接続部は使用中容易に離脱しない様結合する。
2. 人を乗せたまま移動しない事。
3. やむをえず手摺をはずして作業する場合は命綱を使用する事。
4. 脚輪のブレーキは移動中を除き常に作動させておく。又効き具合を確認する。
5. 凸凹又は傾斜が著しいところでは、ジャッキ等により作業床の水平を保持する事。
6. 許容積載荷重を超えた荷重を乗せてはならない。
7. 材料等は転倒を防ぐため偏心しないようにのせる事。
8. 移動式足場の上では、梯子、脚立等を使用しない事。

●安全基準

1. 作業床の積載荷重は200kg以内とする。
2. 手摺については高さ90cm以上で中棧付きを使用する。
3. 作業床はすき間が3cm以下となるよう全面に敷きならべ、又高さ10cm以上の巾木を周囲に取り付ける。
4. 作業床の高さは脚輪の主軸間隔とに依り次式の高さ以下とする。
 $H = 7.7L - 5.0$ $H = \text{作業床高さ}$
 $L = \text{主軸間隔 (各単位:M)}$
 ●例 $L = 1.5M$ の場合
 $H = 7.7 \times 1.5 - 5.0 = 6.55M$
 ※ 4段迄可能。それ以上の場合は控かく(アウトリガー)を使用する。
5. 脚輪の直径は125mm以上とし、ブレーキの完備したものを使用する事。
6. 昇降設備は踏棧の長さが30cm以上、かつ踏棧の間隔が40cm以下で等間隔である事。
 (建枠A-2使用の場合はこの条件を満す。)

会社名

作業主任者(指揮者)名